

胃内視鏡検査 問診票

・確認事項

問1	心臓病や不整脈などの心臓の病気はありますか？	はい	いいえ
問2	心臓の病気や脳梗塞などで 血液を固まりにくくする薬を内服していますか？	はい 薬剤名: _____	いいえ
問3	血圧の薬を内服していますか？	はい	いいえ
問4	薬のアレルギーはありますか？（歯科麻酔も含む）	はい	いいえ
問5	糖尿病ですか？	はい	いいえ
問6	緑内障（眼圧が高くなる病気）ですか？	はい	いいえ
問7	（男性の方）前立腺肥大症ですか？	はい	いいえ
問8	甲状腺の病気と言われたことがありますか？	はい	いいえ
問9	肝臓の病気と言われたことがありますか？	はい	いいえ
問10	腎臓の病気と言われたことがありますか？	はい	いいえ
問11	COPD（呼吸器の病気）と言われたことはありますか？	はい	いいえ
問12	（女性の方）妊娠の可能性はありますか？	はい	いいえ
問13	取り外しのできる入れ歯はありますか？	はい	いいえ

胃内視鏡検査 同意書

私は担当医 河本 真大 より説明を受け、また、内視鏡検査の目的、方法および偶発症等の説明文を読み、上部消化管内視鏡検査（経口）を受けることに同意します。

20 年 月 日

患者氏名（自署） _____
（又は保護者）

代理人氏名（自署） _____
（代理人は最も近い親族）（患者様との関係： _____）

※ 本人が判断不能な場合、代理人が署名して下さい。なお、本人の署名がある場合、代理人の署名は不要です。

鎮静剤の使用を（希望する・希望しない）

尚、希望された場合は検査後の車やバイク、自転車の運転はしないでください。

胃内視鏡検査 説明書

1. 検査(治療)の概要および目的

食道、胃、十二指腸上部の病変が疑われた場合や、腹痛等の症状がある場合、吐下血など消化管出血が疑われる場合など病変を明らかにする目的に行います。また、すでに食道や胃、十二指腸上部に病変が存在することが明らかな場合に、その経過観察を目的に行う場合もあります。ピロリ菌の存在診断や、治療を目的に行う場合もあります。

2. 検査(治療)の方法

のどと鼻の局所麻酔をした後、内視鏡を挿入し、空気を入れながら食道・胃・十二指腸上部を観察します。何らかの病変が存在したり、病変が疑われる場合には、組織の一部をつまみとって標本を作成し、顕微鏡の検査を行うことがあります(生検検査)。生検検査の結果は、後日担当医より説明があります。必要な場合には、病変部位に安全な色素を散布したり、ピロリ菌の検査も行います。

3. 鎮静剤について

検査中の苦痛を軽減するために、鎮静剤の使用が可能です。ただし、使用した場合、血圧低下や呼吸抑制、意識消失などの偶発症が生じる可能性があり、検査中は指先に血液中の酸素を測る装置等をつけ危険防止を心がけます。何らかの異常が生じた場合は、検査を中止し、拮抗薬の投与や点滴等の処置を行います。

4. 検査(治療)の偶発症

日本消化器内視鏡学会が行った全国調査の結果によると、上部消化管内視鏡検査(治療は除く)での偶発症は、全体で0.005%(2万人に1人)とされ、主なものは以下の通りです。

1) 輸血や入院が必要な出血	0.0016%	(約6万3000人に1人)
2) 裂創(こすれてできる傷)	0.0012%	(約8万3000人に1人)
3) 穿孔(穴が開く)	0.0003%	(約33万人に1人)
4) 死亡	0.0002%	(約50万人に1人)

万一、偶発症が生じた場合には、外科処置を含め、責任を持ってその対応に当たります。

5. 検査(治療)後

- ・ 約1~2時間(のどの麻酔が切れるまで)は絶飲食です。最初に少量の水を飲んでいただき、むせなければ、食事をしていただいて構いません。
- ・ 生検検査を施行した方は、検査当日はアルコールや刺激物は控えてください。
- ・ 鼻出血を起こし、止血処置が必要になる事があります。
- ・ 喉の痛みや軽い腹痛や腹満が起こる場合がありますが、ほとんどの場合は一時的なもので心配はいりません。しかし、2日たってもおさまらない場合や腹痛が強くなる場合、黒い便が出る場合などおかしいと感じたら、速やかに病院に連絡してください。
- ・ 色素検査をした場合は、胸やけをしたり、便や尿が青くなる場合がありますが、一時的なものですので、心配はいりません。
- ・ 前処置の注射で眼がぼやける、ふらつく、気分が悪くなる、ドキドキする、おしっこが出ないなどが起こることがあります。通常は数時間でおさまりますが、激しい運動や運転は控えてください。
- ・ 当日、検査施行医師より薬を処方する場合があります。その場合は、指示通り内服して下さい。
- ・ 検査結果は当日または後日に担当医より説明いたします。

6. その他

- ・ 検査には、お腹を緩められる服装および着脱しやすい靴にてお越しください。
- ・ 治療中の病気やアレルギーのある方は注意が必要です。事前に申し出てください。
- ・ 現在内服中の薬については担当医の指示に従ってお飲み下さい。